

しかおい 議会だより

第159号



新たな委員会体制 ②

6月定例議会 ④

全議員研修会に参加 ⑥

3人の議員が問う ⑦

ぎかいトピックス ⑩

「ゴール！」

撮影者 鹿追高校写真部顧問
清水 孝 さん

■ 2023（令和5）年7月25日発行
[E-mail] gikai@town.shikaoi.lg.jp
[URL] <https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■ 発行者 北海道鹿追町議会

2023年7月

議会議員の改選に伴い 各委員長を選出

4月18日告示の町議会議員選挙で11人の議員が無投票当選し、新しい議会体制でスタートした。

5月10日開催の第3回臨時議会で議長から各委員が指名され、各委員会で、互選により正・副委員長が決定した。

総務文教 常任委員会



山口 優子
総務文教常任委員長

改選後の各委員会にて、委員の皆さまより選任いただき、このたび、総務文教常任委員長に就任いたしました。

いたらぬ点ばかりですが、一生懸命努めてまいります。

総務文教常任委員会では、総務課、町民課、企画課、子育て支援課、教育委員会、消防、瓜幕支所に関する事項等を所管します。

具体的には、暮らしの手続きや防災、図書館・学校等、子供から高齢者までの学びに関わること、公共施設の修繕やゼロカーボン等、まちの計画に関わること等を担当します。

委員会の運営にあたり、議員間協議の時間を増やすこと、行政説明資料の書式改善等に取り組んでまいります。

委員各位の質疑を生かし、町民皆さまの意見や疑問を町政に反映できるように尽力してまいります。

産業厚生 常任委員会



川染 洋
産業厚生常任委員長

第28期鹿追町議会の産業厚生常任委員会委員長に就任いたしました。

本委員会は産業部門においては基幹産業の農業と商工業の発展、福祉厚生部門では住民皆さまの健康をはじめ、総合福祉の向上に努めるべき使命を持ってまいります。

地球温暖化により私たち社会への影響は多くのリスクをもたらせております。猛暑日が増え、平均気温が高くなり最高気温が塗り替えられています。

このことは、わが町の基幹産業である農業にももちろんのこと、生活環境にもその影

響は避けられないことになるやも知れません。行政施策の適切かつ迅速な対応が迫られることが多くなると考えます。

わが町も、微減ではありませんが人口減少が進んでおります。消費者の減少は商工業者の経済活動に直接影響をもたらします。

住民皆さまとの意見交換の場を多くつくり、議会としての提案に役立たせていただきたいと考えております。

産業厚生常任委員会は、住民皆さまが健康で豊かな生活が送れるよう、町のシンクタンクとしての責任を果たしてまいります。



狩野 正雄
広報広聴常任委員長

広報広聴 常任委員会

広報広聴常任委員会は、広報部会5人(部会長 佐々木康人)、広聴部会5人(部会長 狩野正雄)で構成し、議会や町の動き、議員活動等を住民に伝える活動を進めます。

広報部会では、鹿追町議会基本条例の理念である、町民に分かりやすい、開かれた議会の推進を図るため、広報活動は年4回の議会だよりとミニ広報の編集発行を引き続き実施してまいります。

また、より読みやすく親しまれる広報紙にするため委員一同努めてまいります。

広聴部会では、まちなか会議や議会報告会等の広聴会を



所管事務調査 (R4.8.29)
新規就農の酪農家を視察 (宗谷管内枝幸町)

【訂正】しかおい議会だより第158号の表紙説明文に一部誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。(誤) ~卒業生1人の巣立ちを~ (正) ~卒業生2人の巣立ちを~

議会運営委員会

開催し、住民の意見や課題を集めて地域課題の解決策や町づくりを生かすよう活動します。

ここ数年間は新型コロナウイルス感染症拡大により、活動に制約がありました。

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行になったことで、広聴活動では住民や団体に議員が出向いて意見交換を行うお呼ばれ懇談会を実施したいと思いま

す。地域の集まりやサークルの折りに「あんなこと、こんなこと」について議員と意見交換してみませんか。

国際交流センター平成館での「議員とカフェでひとこと」や、年4回実施しております。定例議会後の議会報告会もこれまで通り開催いたします。

多くの皆さまのご意見をお聞きしたいと思っておりますので、お気軽にお越しください。



安藤 幹夫
議会運営委員長

5月10日の臨時会において議会運営委員に選任され、委員会での互選により委員長に就任いたしました。

議会運営委員会は、11人の議員で構成する議会を円滑に、そして効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会であり、議会の運営に関する事項、議会の

会議規則や委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管します。

地方分権時代の町村議会において大事なことは、個々の議員が住民から負託された民

主的町村政治を実現していくという認識を持ち、その機能と役割を果たせるよう努めます。

前期、今期と2期連続無投票当選となった現実を重く受け止め、町民の皆さまが議会に対し一層の関心と、まちづくりにチャレンジしていく人材確保、幅広い世代が参加できる環境、信頼される議会づくりに努めてまいりたいと思

います。さまざま課題を抱える議会運営となりますが、長年議会に関わってきた経験を生かし、委員会を運営してまいります。

自衛隊駐屯地 特別委員会



川染 洋
自衛隊駐屯地
特別委員長

第28期鹿追町議会自衛隊駐屯地特別委員会委員長に就任いたしました。

自衛隊法は1954年（昭和29年）に制定され、その後、1957年（昭和32年）鹿追町に陸上自衛隊が駐屯し、本年度66年が経過いたしました。

その間、一貫してわが町は自衛隊と共にある町として発展してまいりました。

近隣町村からは牛乳より銃弾を選んだ町とやゆされた時代もあったと先輩議員からお聞きしたこともありましたが、住民の皆さまの決断は褒

められるべきことだったと敬意を表します。

自衛隊は私たちが生活する国の平和と独立を守ることを主たる任務としております。ウクライナでは力による現状変更がみられるところですが、日本の空域、海域においても日常的に侵犯が行われているようです。

中国へのスクランブル発進が年間700回、ロシアへも200回を超えていると防衛省が発表しております。自衛官のたゆまぬ努力に敬意を表し、議会としての協力体制をしっかりと構えていきたいと思っております。



第三者審議会 (R5.2.21)
政務活動費の審査と意見交換を行なった



自衛隊第5旅団改編行事 (R5.3.25)



つぶやき

■ 然別オパールに含まれる一部が新鉱物の「北海道石」に認定。保全の体制整備が急がれる。

役場庁舎に

エレベーター設置

工期は令和6年1月下旬までを予定

6月定例議会が6月12日から20日まで開催され、条例改正、各会計補正予算等16件を原案どおり可決した。

令和5年度一般会計補正予算は、5億8472万円を追加し74億6970万円とした。

議決事項

専決処分

○町税条例改正

肉用牛売却による所得の課税特例の適用期限を延長する。

また、軽自動車税（種別割）を軽減するグリーン化特例の期限延長等、14項目の町税条例改正専決処分を承認した。

主な条例改正

○町税条例

令和6年度から課税される森林環境税の徴収方法等の規定整備、扶養親族等申告書の記載事項の簡素化、三輪の特定小型原動機付自転車の種別区分等を改正した。

○国民健康保険税条例

令和5年度分国保税の課税限度額の後期高齢者支援分として、現行の20万円から22万円に引き上げた。

また、未就学児に係る均等割の軽減する金額について1万5000円引き上げた。

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例

放課後児童支援員の資格要件の改正を行なった。

従前は、放課後支援員は、知事が行う研修等を修了する期限を、平成32年3月31日としていた。

今回の改正で、支援員として雇用された翌々年度末日までの間に、町長が指定する日までに修了することに変更した。

主な補正予算

○庁舎エレベーター他設置事業 1億4076万円

役場庁舎に11人乗りエレベーターを設置する。

また、議場及び各階のトイレを改修する。

1階と3階にはバリアフリートイレが新設される。

トイレが使用できない期間は、庁舎北側と南側に仮設トイレを設置する。

工期は令和6年1月末まで。

○物価高騰対応商品券発行事業 2798万円

物価高騰による家計負担の軽減と、地域消費喚起のため商品券を配布する。

対象者は、基準日（令和5年6月1日）に住居基本台帳

に登録されている方。

18歳以下及び65歳以上は6000円分。

19歳以上64歳以下は4000円分。

令和5年6月2日以降令和6年3月までの出生者は6000円分。

国の補助金を活用する。

○公用車購入費 619万円

プラグインハイブリッド自動車（PHEV）と、中古のハイブリッド自動車（HV）を購入する。

公用車を更新し、脱炭素化を図る。

○再エネ推進重点対策加速事業 7633万円

太陽光発電・定置式蓄電池・エネルギーマネジメントシステム（以上家庭用は原則セット）・太陽熱システム・高効率給湯器購入及び既存住宅断熱改修に対し補助する。

国の補助金を活用する。

○住宅太陽光発電システム用蓄電池導入促進補助金 50万円

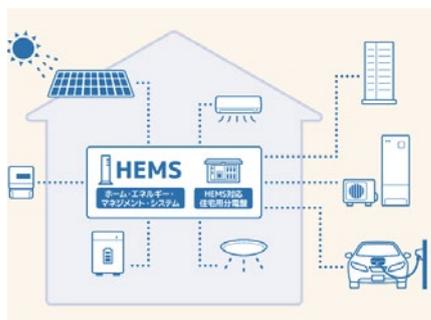
住宅用蓄電池購入に対し補助する。

対象は、固定価格買取制度（FIT）認定を受けていない、既設住宅用太陽光発電システムに接続するもの。

10万円を上限（費用の10%）に、商品券を交付する。国の補助金を活用する。



自営線ネットワークの電気を充電するPHEV公用車



「ホームエネルギーマネジメントシステム」電気機器のエネルギー使用状況を見える化



改築される山村留学センター
ZEB化で省エネと創エネを図る

○地域活性化起業人派遣企業負担金 620万円

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進のため、IT技術等の専門知識を持つ地域活性化起業人1人の派遣を受ける。

町の課題の掘り起こしや、その解決策を基に、住民の利便性や業務効率化を図る。

全額交付税措置される。

○瓜幕地区概略設計策定業務委託料 1996万円

脱炭素先行地域事業として、山村留学センターのZEB化(消費エネルギーの収支ゼロを目指す)と、瓜幕小学校等に自営線を導入するための概略設計を行う。

国の補助金を活用する。

○防災行政無線放送施設実施設計業務委託事業 677万円

防災行政無線放送設備のデジタル化に伴い、実施設計を行う。

更新工事は、令和6年度、令和7年度で行う予定。

○外部給電器購入費 549万円

車からの電気を蓄電できる携帯用外部給電器を7台購入する。

PHEVやEVを蓄電池として扱い、電気機器等へ給電する。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策及び接種体制確保事業 2132万円

新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施するため、体制を整える。

国の補助金を活用する。

○就労継続支援B型事業所の開設準備に伴い、利用者送迎車両を購入する。 228万円

就労継続支援B型事業所の開設準備に伴い、利用者送迎車両を購入する。

就労支援施設から、作業場所となる瓜幕バイオガスパラントの水耕栽培ハウスまで送迎する。

○トリムセンター内部改修実施設計業務委託料 220万円

子ども家庭センター設置のため、トリムセンターの改修工事を行う。

母子保健(保健福祉課)と児童福祉(子育て支援課)の相談支援を同じ施設で行うことにより、さらなる支援の充実・強化を図る。

○送迎バス用置き去り防止安全装置設置 227万円

園児の送迎バス6台に、置き去り防止安全装置を設置する。

エンジン停止後、職員が車両後部まで移動してブザーを止め、置き去り事故を防止する。



送迎バスで登園 置き去り防止安全装置で子どもの安全を図る

○町営牧場用ホイールローダ購入費 1496万円

町営牧場のホイールローダ(平成22年式)を更新する。

○環境保全センター用ホイールローダ購入費 1320万円

環境保全センター瓜幕施設のホイールローダ(平成26年式)を更新する。

中鹿追施設分(平成15年式)は、令和6年9月30日以降更新する。

○農畜産物需要拡大推進協議会補助金 300万円

生乳や砂糖類の余剰が続いているため、支援を行い農畜産物の需要拡大を図る。



Aコープ3店舗で行なった需要拡大セール (R5.1.30~R5.3.31)

○融雪剤散布機購入費 357万円

融雪剤散布機を購入する。

○高台地区1号井戸取水ポンプ更新工事他 2392万円

高台地区井戸取水ポンプの更新及び新町3丁目給水管新設工事を行う。(簡水特別会計)

○東町南通り歩道他工事 3969万円

東町南通り歩道整備、中瓜幕25号線歩道補修工事、泉町4丁目東仲通り植樹帯補修工事を行う。

東町南通り歩道整備は、国の補助金を活用する。

○町営住宅修繕 1200万円

もみじ区団地他の内装修繕を行う。

○水槽付き消防ポンプ自動車更新事業 7813万円

鹿追消防団第1分団の水槽付き消防ポンプ自動車(平成元年式)を更新する。

○(仮称)やっぱり十勝Day実行委員会負担金他 79万円

エスコンフィールドHOKKAIDO(北広島市)で、十勝の全市町村が一丸となりPR活動を展開する。

球場内にブースを設置しての物販や、新聞でのカラー広告等により、十勝の魅力を発信し、認知度を高める。

また、令和5年8月4日の野球観戦チケット(北海道日本ハムファイターズ対福岡ソフトバンクホークス)を補助し、無料またはあっせん販売する。



○とちかち鹿追ジオパーク推進協議会活動補助金 184万円

日本ジオパーク認定10周年記念事業を行う。

(仮称)「ジオ絵本カーニバルinとちかち鹿追ジオパーク」として、絵本の展覧会を令和6年3月中旬に実施する。

ビクターセンターの展示物を英語表記化し、英語版パンフレットを作成する。また、公式ガイドブックを刷新する。



英語版が作成されるパンフレット(左)と刷新される公式ガイドブック(右)

○(仮称)こども万博事業実行委員会補助金 100万円

子どもの夢スピーチコンテストや町長と子どもの未来サミット、職業体験等、子どもに目標や夢が見つかる体験の機会を提供する。

イベントは、令和5年8月19日に町民ホールで開催し、来場者500人を見込む。

○地域スポーツ活動支援事業補助金 180万円

講師を招き、講習会や研究会を開催する。児童・生徒への直接指導や指導員への助言、栄養・心理等の指導も行う。

○総合スポーツセンターLED化改修事業 4199万円

総合スポーツセンターの電気料金軽減を図るため、照明をLED化する。

工期は令和6年3月末まで。国の補助金を活用する。

繰越事業

前年度内に支出の終わらない予算を、今年度に繰り越して事業を行う。

○定住促進住宅建設奨励事業 360万円

○住宅用太陽光発電システム導入費補助事業 40万円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 850万円

○十勝圏複合事務組合負担金事業 4000円

○道営土地改良事業 3631万円

○農業集落排水処理施設更新事業 150万円

工事契約

○鹿追小学校体育館非構造部材耐震化工事請負契約

鹿追小学校体育館天井の軽量化を図る。

工期は令和5年10月末まで。落札額は5582万円。

同意

○固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、小林みどり氏の再任(4期目)に同意した。

任期は令和8年6月29日まで。

○農業委員の任命に同意

任期満了に伴い、農業委員13人を任命同意した。

再任は、上嶋尚氏、清水智久氏、菊池輝夫氏、坂本慎一氏、加藤義雄氏、新任は、吹上英輝氏、上村好美氏、加藤元幸氏、島かおる氏、藤井史織氏、瀨上樹氏、加藤毅氏、蓮井友人氏。

任期は令和8年7月19日まで。

主な質疑

〔一般会計補正予算〕

(山口議員)

Q 就労継続支援B型事業所の利用者が送迎用車両を購入するが、事業開始はいつ頃か。

どういう体制で事業を進めるか。

サービスマン管理責任者等が必要だが、有資格者は充足されているか。

事業開始にあたり、不足している点は。

A 事業開始は10月からの予定。

今のところ9人が就労し、レタス等の栽培を考えている。

有資格者は、現在研修を受けており、事業開始までに間に合う。

不足している点は、作業環境の部分であると考えられるので検討していく。

具体的な事項は今後詰めていく。

全議員研修会

7月4日北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで行われ、北海道の町村議会議員が一堂に会した。本町は4年ぶりの参加となり、議員10人が聴講した。

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長五百旗頭真(いおきべまこと)氏は「ウクライナ危機後の世界と日本」と題して、ロシアや中国の世界情勢について講演した。

テレビのコメントーターとしても活躍している政治家ジャーナリストの田崎史郎(たざきしろう)氏は「日本政治の舞台裏」と題して、岸田政権の重点施策等、ユニークな語り口で講演した。



全道の町村議会議員が一堂に会して行われた議員研修会

3人の議員が問う。

6月20日、6月定例議会一般質問で、

3議員が登壇した。

児童 待機

Q 認定こども園の待機児童の現状は

A 入園待ちが3人



山口 優子 議員

(質問) 認定こども園に待機児童が複数存在し、保護者から不安と疑問の声が上がっている。入園できないことで仕事ができないとなると、世帯の収入や第2子、第3子を考える上で人生設計に大きな影響を与える。
令和5年4月1日時点で入園を希望しながら、入園できていない児童の

年齢別の人数と、年齢ごとに不足している保育士の人数は。保育の質を向上させるため、国の基準より多くの保育士を配置する等、町独自の考え方で運用している点があるのか。待機児童数の改善に向けての対策や取り組みは。

(答弁) 喜井町長

厚生労働省の定義による待機児童は0人だが、4月1日時点で、入園受け入れができていない人数は、1歳児7人だった。6月に保育士1人を配置し、4人を受け入れ現

在3人が待機児童となっている。1歳児クラスの保育士が必要である。保育士の人数は、国の配置基準通りでは、一人一人に寄り添った保育や安全性の確保が難しいと考える。こども園では各年齢ごとに基準以上に保育士を配置し、保育体制を整備している。

保育士は随時募集し、十勝町村会の採用試験を活用する等しているが、全体の応募者も少なく、人員確保が年々厳しくなっている。1日でも早く希望されている全てのお子さんをお預かりできる安全な体制を整えるために、全力で取り組んでいく。

(質問)

厚生労働省の定義に基づくと、待機児童の実態が把握できないということとは指摘されている。国の配置基準通りに保育士を配置すれば良いという



こども園でのおやつ時間

わけではなく、これからも十分に手厚い保育の質を確保してほしい。保育士の募集には働く環境も大事である。保育士の有給休暇の取得率はどのぐらいか。

(答弁) 米澤課長

代替保育職員は23人、うち有資格者が14人。こども園と地域保育所の担当保育士30人の休曜日や、会議等で不在の代替として勤務している。休暇は、ほぼ希望通りに取れている。新しい方に来ていただくためにも環境を改善して働きやすい職場にしていきたい。

交通・防犯

Q 自転車ヘルメット購入助成を

A 状況を見て判断する

山口 優子 議員

(質問)

2023年4月1日より、道路交通法が改正され、全ての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されたが、全国的にも着用率は低い。
鹿追小学校では着用率はほぼ100%だったが、中学生、高校生はほとんど着用していない。自転車ヘルメットの着

用を啓発するため、数千円ほどの商品券等を助成してはどうか。
5月に不審者が出たが、防災無線や町お知らせアプリ「ミジカ」等によるメール配信がなかった。不審者情報は広く知らせて、防犯のための見守りを行うことが重要で、一般向けの注意喚起も必要。運用ルールは。また、子どもたちが登下校中にけがをしたり、不審者に遭った場合に助けを求められる緊急避難場所の「子ども110番の家」の現状は。

(答弁) 喜井町長

北海道自転車条例において、平成30年4月1日からヘルメット着用を努力義務としてきた。本町では鹿追小学校の3年生以上の児童に対して、交通安全教室等で指導しており、鹿追小学校を除く地域の小学校児童には、寄付いただいたヘルメットを配布してい

■意見を拝聴する手段として、町長はやまびこメールがあるが、議員にはこだまメールのようなものがあればという意見がありました。

つぶやき



る。広報5月号にも掲載したが、今後も各学校や老人会等にヘルメット着用の啓発を行いたい。

町職員の交通安全友の会ではヘルメット購入助成を行なっている。今後、着用率の状況等を見て検討する。

不審者情報の配信運用ルールは、内容や状況に応じて対応している。

今回の事案は、保護者メールで注意喚起したのち、さらに防災行政無線等での周知は必要がないと判断した。

「子ども110番の家」については、平成18年2月に防犯ステーション「110番の家」を町内各家庭へ依頼し、45件でスタートした。現在51件設置している。

(質問)

朝の始業時間ごろ、自転車車でスピードを出している学生もいる。危険を理解してもらおうよう、スタントマンが自転車事故

を再現するような交通安全教室も検討しては。

不審者の情報等のメール配信は、疑わしいものは広くお知らせし、注意喚起をすべきである。

「子ども110番の家」の防犯マップを作り、子どもたちにウオークスタンプラリーをして回ってもらい、防犯意識の啓発につなげては。

(答弁) 喜井町長

情報配信は大事だが、状況に応じて対応している。

町内の「子ども110番の家」ののぼりの設置状況等を点検・確認し、取り組んでいきたい。



4月28日上幌内小学校・笹川小学校交通安全教室

(質問)

町道7号線に設置されている防雪柵は、支柱が折り畳み収納されておらず、住民やドライバーから、農村景観の阻害や、畳まれた防雪板で取り付け道路が死角になる等指摘されている。



狩野 正雄 議員

道路管理

町道7号線防雪柵の維持管理は

民間事業者への委託を検討

設置されている防雪柵は支柱も折り畳める構造であるが、現在の状態ではその利点が生かされていない。

従来行なっていたとおり、支柱から折り畳み収納すべきである。

また、定期的に防雪柵を解体収納、組み立て設置することで、各部材の不具合や変形を見つけない事もできるため、このような作業を軽視してはならないと考える。

防雪柵維持管理作業を見直し、民間事業者に委託する考えは。

(答弁) 喜井町長

町道7号線の防雪柵は、北5線から北15線にわたり設置している。

設置後20年以上経過し、老朽化しているが、町道7号線は住民生活を支える幹線道路であり、観光面でも主要道路である。

今後の維持管理は、細部の点検や収納作業を民間

間事業者への委託も含め検討する。

(質問)

町道のセンターラインや商店街の駐車場の区画線が消えており、交通安全や商店街のにぎわいづくりの観点からも、点検調査を行い、計画的に実施する必要がある。

(答弁) 喜井町長

町道の白線や区画線は交通の流れを整え誘導し、交通安全と円滑な通行確保のため重要である。今年度は予算を増額して対応している。

今後も町内の状況を把握し、計画的に進めていく。

駐車場内の区画線整備は、調査点検を行い、優先順位を考慮し、効果的に実施し、交通安全に努めたい。

(質問)

鹿追は、シーニックバイウエイの山麓ルートと

して、魅力的な景観作りや安全で快適な道路網の整備につながるよう活動を続けてきた。

さらに地域の活性化や物流の効率化、観光客の呼び込みを図ることが道路行政なのでは。

(答弁) 喜井町長

シーニックバイウエイには大変ご尽力をいただいている。

より安全で景観にも配慮した道路行政を進める。



町道7号線の防雪柵 支柱が折り畳まれていない



つぶやき

■初めての一般質問。程よい緊張感と達成感。提案が動きや形になるのが楽しみ。良い形で町民の方々の幸福感につながってほしい。

(質問) 住民参加によるより良い町づくりを目指すには、情報のやり取りが必要であり、議論の基となる正しい情報の発信が不可欠である。

町の財政や町の課題は何か等、情報提供しな



黒井 敦志 議員

情報発信

Q 議論の基となる情報発信を組織的に

A 町内外へ迅速かつ効果的に対応する

(答弁) 喜井町長 情報発信の手段が多様化し、さまざまな手法で提供を行なっている。さらなる情報発信のため、町民ニーズを把握し、より関心を持ってもらえるよう努める。

さらに、職員研修や組織開発を行いながら、知

れば、協働の町づくりはできない。

より多くの方々に町づくりに関心を持ち、参加してもらおうきっかけは情報だと思う。

いつの時代も、自治体職員はいかに能力を高め、発揮するかが大事であり、さらなる資質向上は、町の将来的にも大切な財産になると考える。

自ら考え行動し、自主的に変化する職員を育てるために、情報発信がいかに重要かを組織的に啓発する必要がある。

2期目をスタートするにあたり、組織の開発と活性化を目指す考えは。

ニューヨーク・タイムズが選ぶ、今年行きたい世界の旅行先で盛岡市が第2位となった。盛岡市の戦略に情報発信の強化がある。組織内の意思啓発と連携による情報発信の強化が大事である。

現在、SNS等での情報発信を研究実践している自治体もある。

恵を結集して町内外へ迅速かつ効果的に対応していく。

組織の情報発信のあり方も、2年前からいろいろな手段を増やしているが、職員全体の認識の問題もある。

研修等や連携により効果的な情報発信ができるよう努めていく。

(質問) かつて町のホームページにあった情報や、郷土の貴重な資料で継承されていないものがある。データを収集・整理し、郷土資料館的な役割を果たすことは可能か。



R3.8.1から運用開始した町お知らせアプリ「ミジカ」

町と住民が情報共有できる環境整備と広報戦略を構築し、鹿追町をさらに厚みのある組織に育ててほしい。

(答弁) 喜井町長 過去の情報が継承されているか確認する。開町100年記念で写真集を配布した。その際、相当数をデジタル化したので、アーカイブ(保存記録)を設ける等、研究したい。

内部で意思疎通を図り、効果的な情報発信ができるよう努めたい。

まちなか会議

議員とカフェでひとこと

令和5年8月22日(火) 11:00より

狩野正雄 議員 と 清水浩徳 議員が

平成館でお待ちしています!

- ◎予約は不要です。
- ◎新型コロナウイルスの感染状況等により中止・変更する場合は、ホームページ・防災無線・ミジカ等でお知らせします。

7月号 表紙写真について

表紙の写真を、鹿追高校写真部の皆さんにご協力いただくことになりました。

今回惜しくも次点となった右の作品は、松本楓也さん(3年生)の「どこまでも」です。

今後の作品もお楽しみに!





国際バカロレア担当

地域おこし協力隊として

グレンさんが来町

4月から、鹿追町教育委員会に地域おこし協力隊として赴任したシンボ・グレンさんに、お仕事のこと等を伺いました。

Q. 数カ月住んでみた鹿追町はどんな感じですか。

A. 何も不便も感じずに生活できています。

然別湖もきれいでですし、すごく良い所ですよ。人も良い人ばかりです。

Q. 鹿追町の子どもたちについてどう感じますか。

A. すごく純粋で子どもらしい。

目が、とても澄んでいてキラッキラッしていて可能性を感じます。



地域おこし協力隊
シンボ・グレン・ノリアキさん

Q. 現在、担われている仕事の内容とバカロレア教育の必要性とは。

A. 今、国際バカロレア認定を目指して、シンガポールの本部とやり取りをしています。

バカロレア教育は「人を創る」教育です。純粋な心を持っている鹿追町の子どもたちが、この教育プログラムによって世界に誇れる「人財」になると信じています。

「プロフィール」

米国シアトルカークランド出身
1975年生まれ
米国スタンフォード大学卒業

(取材・インタビューアー 金子孝伸)

地域と連携した 少年団、部活動を目指して



鹿追町における少年団、部活動の地域移行説明会 (R5.5.24)

文化庁、スポーツ庁のガイドラインに基づき、令和7年度までに、地域と連携した持続的な少年団、部活動を目指した地域クラブ活動の構築を図ることとなっています。

5月24日、鹿追町のスポーツ関係団体代表者にご参集いただき、「鹿追町における少年団、部活動の地域移行」について説明会を実施しました。

鹿追町の子どもたちのために、ぜひ指導者として関わってみませんか。

鹿追中学校校長を3月末で退職し、4月から担当となりました。社会教育の窓口にいると、学校では関わることのなかった方々と接点を持つことができ、毎日が新鮮に感じられます。

マスクの推奨もなくなり、町民の皆様の顔と名前を早く覚え、鹿追町に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いたします。

(取材・インタビューアー 黒井敦志)

編集後記

今号から新たな体制で広報活動をおこないます。

議会の内容、報告をわかりやすく、町民の皆さまにお伝えできるよう、委員一同知恵を出し合い取り組んでまいります。

本紙に特集してほしい事や議会について知りたい事など、町民の皆さま方のご意見をお待ちしております。

議会広報部会 部会長 佐々木 康人

議会広報広聴常任委員会
広報部会

部会長 佐々木康人
副部会長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志